

社団法人 地盤工学会
調 査 ・ 研 究 部 会
平成 22 年度第 1 回 議事録

日 時	平成 22 年 5 月 19 日 (水) 15 : 00 ~ 18 : 45			場 所	地盤工学会 JGS 会館 大会議室			
部長	川邊 敏弘	○	★理事	中井 正一	○	幹事	阿保 寿郎	○
幹事	山田 祐樹	○	幹事	井上 波彦	○	ガ幹事	川名 太	○
ガ幹事	田中 俊行	○	ガ幹事	廣岡 明彦	×	★部員	井沢 淳	○
部員	小澤 一喜	○	★部員	酒井 直樹	○	部員	持田 泰秀	×
部員	規矩 大義	×	部員	杉山 太宏	×	部員	御手洗 義夫	○
★部員	古本 吉倫	×	部員	前田 健一	×	部員	安原 英明	×
★部員	本間 裕介	×	★部員	塩谷 智基	×	★部員	磯部 公一	×
★部員	金田 一広	○	部員	根岸 昌範	×	ガザバ	大塚 悟	○

★ : H21 年度新任 ○ : 出席予定 × : 欠席予定

配 付 資 料

* 印は【審議】関連資料

資料番号	資 料
資料番号なし*	平成 21 年度 第 2 回 調査・研究部界運営会議議事録 (案) (H22/1/ 開催)
資料-21.1.1 *	理事会 (1/22, 3/19, 4/23, 5/14), 運営連絡会議 (2/26) 開催報告
資料-21.1.2 *	新設研究委員会「老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究委員会」名簿
資料-21.1.3 *	新設研究委員会「大ひずみ領域を考慮した土の繰返しせん断特性に関する研究委員会」名簿
資料-21.1.4 *	新設研究委員会「地球温暖化が地盤環境に及ぼす影響と対策に関する研究委員会」名簿
資料-21.1.5 *	既設委員会の 22 年度活動計画・予算案 (H20-22 斜面・のり面の維持管理と防災マネジメント), (H20-22 地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術), (H21-23 地盤材料試験の精度分析と表記方法), (H21-23 情報通信技術 (I C T 技術) の適用による地盤工学の高度化)
資料-21.1.6 *	横浜環状北線地盤変動監視委員会 平成 22 年度契約書
資料-21.1.7 *	平成 22 年度 科学技術総合推進費補助金交付決定通知書
資料-21.1.8 *	全国電子地盤図の利用規約 (案)
資料-21.1.9 *	高炉水砕スラグの地盤工学的有効利用促進に関する利用研究委員会成果報告会開催報告書
資料-21.1.10 *	第 45 回地盤工学研究発表会講演集の発行部数及び価格の選定理由書
資料-21.1.11 *	第 45 回地盤工学研究発表会会告
資料-21.1.12	地盤工学シンポジウムの開催方法に関する資料
資料-21.1.13	第 55 回地盤工学シンポジウム 論文募集会告
資料-21.1.14	地盤工学シンポジウム 運営細則案
資料-21.1.15	60 周年記念 DVD の現状と今後の方策に関する資料
資料-21.1.16	HP の英文化に関するアンケート一式
資料-21.1.17	研究企画委員会の 22 年度活動計画・予算案 (斜面災害研究企画委員会), (地盤環境研究企画委員会)
資料-21.1.18	
別添資料-21.1.1	
別添資料-21.1.2	
回覧資料-21.1.1	

◎本日の議事録作成者： 川名 (次回：田中)

【 議 題 】

- I. 前回 (H22/1/20 開催) 議事録の確認 (担当：事務局) (資料番号なし)
- ・事務局より説明がなされ、了承を得た。
- II. 全体関係
1. 平成 22 年度調査・研究部および各常設委員会の体制
- ・川邊部長より、平成 22 年度の各常設委員会のメンバー表を提出するよう依頼がなされた。
 - ・事務局より、調査・研究部に部付きの幹事を置きたい旨の要請があり、承認された。具体的な人選については、常設委員会のメンバー表を確定した後、決定することで合意した。
2. 理事会 (1/22, 3/19, 4/23, 5/14), 運営連絡会議 (2/26) 開催報告 (資料-22-1-1)
- ・川邊部長より、60 周年記念 DVD, シンポジウム等調査・研究部関係上申事項の結果および予算, 公益法人化に関する事項等学会全体に関する事項の説明がなされた。
- III. 委員会構成関係
1. 委員会の構成 (資料-22-1-2~4)
- 1) 平成 22 年度新設委員会委員の構成
- ・以下, ①~③の委員会委員の構成について、承認された。
 - ①老朽化した埋設カルバートの復旧に関する研究委員会 (メール審議済)
 - ②大ひずみ領域を考慮した土の繰返しせん断特性に関する研究委員会 (メール審議済)
 - ③地球温暖化が地盤環境に及ぼす影響と対策に関する研究委員会
 - ・「地球温暖化が地盤環境に及ぼす影響と対策に関する研究委員会」の委員の所属が重複していることについて、幹事と委員としての参加であり、役割分担が異なる旨の説明がなされた。また、名簿の所属 (勤務先) の空欄を埋めるよう依頼がなされた。
2. 委員の追加, 交代 (メール審議済)
- ・以下①~③の委員会委員の追加・交代について、承認された。
 - ①地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術の高度化と適用に関する研究委員会 (追加)
新任 委員 武田 都 氏 株式会社アステック東京 地質環境部
 - ②地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術の高度化と適用に関する研究委員会 (交代)
退任 委員 藤原照幸 委員 (地域地盤環境研究所)
新任 委員 管 茜檬 (かん しもん) 氏 (同)
- 理事会報告** ③横浜環状北線地盤変動監視委員会
- 退任 山口 敬義 委員 (横浜市環境創造局環境保全部 部長)
 - 新任 伊佐見 孝夫 氏 (横浜市交通局技術管理部 部長)
- 理事会報告** 3. 部員の公募
- ・渡邊論氏 ((財) 鉄道総合技術研究所防災技術研究部地盤防災) を調査研究部の委員として、委嘱することを承認した。なお、所属常設委員会については、常設委員会間で調整することとした。
- IV. 研究統括委員会関係
1. 既設委員会の今期の計画 (資料-22-1-5)
- ・既設委員会の本年度の活動計画書・予算案について、説明がなされた。本年度より、各委員会に活動計画の他に、予算執行計画を提出していただき、合わせて管理していく旨の報告がなされた。
2. 研究企画委員会 (資料-22-1-17)
- ・研究企画委員会の本年度の活動計画書・予算案について、説明がなされた。本年度より、各委員会に活動計画の他に、予算執行計画を提出していただき、合わせて管理していく旨の報告がなされた。

また、H22年度中にH23年度以降の委員会の継続の有無、継続の場合の委員会の活動目標などを検討する旨合わせて報告された。

理事会報告 3. 「横浜環状北線地盤変動監視委員会」のH22契約 (資料 22-1-6)

- ・事務局より、横浜環状北線地盤変動監視委員会の本年度の契約に関する説明がなされ、承認された。

理事会報告 4. 「平成 22 年度科学技術総合推進費補助金業務」 (資料 22-1-7)

- ・事務局より、平成 22 年度科学技術総合推進費補助金業務の補助事業名および補助金交付額について、以下の通り決定した旨の報告がなされた。

補助事業名称：重要課題解決型研究等の推進 統合化地下構造データベースの構築

補助金の交付決定額：9,339,999 円

- ・また、H22 年度で 5 年契約の最終年度を迎えることから、契約終了後の活動継続について当該委員会及び関連学協会と協議していくことが確認された。

弁護士へ相談 5. 受託委員会からの検討依頼 (資料 22-1-8)

- ・現在、試験公開中の全国電子地盤図の事業の継続性、メンテナンス等、今後、学会としてどのように対応していくかについて議論がなされた。
- ・全国電子地盤図を本公開するにあたっての利用規約（著作権等）の問題について、弁護士に相談するよう、事務局へ依頼がなされた。

理事会報告 6. 高炉水砕スラグの地盤工学的有効利用促進に関する利用研究委員会成果報告会開催報告 (資料 22-1-9)

- ・事務局より、高炉水砕スラグの地盤工学的有効利用促進に関する利用研究委員会成果報告会に関する説明がなされた。
- ・報告書の残部(8部)について、会員に頒布したい旨の報告がなされ、承認された。なお、頒布価格は、報告会時の学生会員の参加料と同額(1,000円(税込))とすることで、了承を得た。
- ・資料 22-1-9 について、以下の修正依頼がなされた。
 - a)開催日時の「平成 22 年 4 月 22 (木)」を「平成 22 年 4 月 22 日 (木)」に修正する。

V. 行事委員会関係

理事会報告 1. 研究発表会

1) 第 45 回地盤工学研究発表会 (松山大会)

(資料 22-1-10), (資料 22-1-11)

- ・冊子版講演集の印刷部数および価格について、以下の通りとすることで、承認を得た。なお、冊子版講演集の販売については、今後、廃止の方向で検討していくことを確認した。

印刷部数：80 部

価格：25,000 円(会員特価, 税込), 35,000 円(定価, 税込)

- ・DVD-ROM の印刷部数および価格について、以下の通りとすることで、承認を得た。

印刷部数：2,000 部

価格：14,300 円(会員特価, 税込), 18,590 円(定価, 税込)

- ・第 45 回地盤工学研究発表会の準備進捗状況および会告案について、説明がなされ、承認された。

理事会報告 2) 第 46 回地盤工学研究発表会 (関西大会：23 年度)

- ・第 46 回地盤工学研究発表会の開催日、開催会場、実行委員会の体制について、以下の通り承認された。

開催日：平成 23 年 7 月 5 日(火)～7 日(木)の 3 日間 (準備日 4 日(月))

会場：神戸国際会議場 (650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1, TEL : 078-302-5200, FAX : 078-302-6485)

実行委員会の体制

理事会審議 委員長：岡 二三生 (京都大学大学院)

理事会報告 副委員長：霜上 民生 (近畿建設協会)

理事会報告 総務部会長：澁谷 啓 (神戸大学大学院)

理事会報告 研究発表講演部会長：勝見 武 (京都大学大学院)

理事会報告 技術展示部会長：松田 好史 (西日本旅客鉄道)

理事会報告 特別講演懇親会部会長：小田 和広 (大阪大学大学院)

理事会報告 行事部会長：本井 敏雄（兵庫県）

- ・第47回地盤工学発表会の支部委員の調査研究部会への参加を打診するよう、事務局へ依頼がなされた。

2. 地盤工学シンポジウム (資料 22-1-12), (資料 22-1-13, 14)

1) 地盤工学シンポジウムの開催方法について

- ・地盤工学シンポジウムの開催方法案について、説明がなされ、承認された。(メール審議済)

2) 第55回地盤工学シンポジウム

- ・第55回地盤工学シンポジウム(平成22年11月25, 26日実施予定)の論文募集会告案について、説明がなされ、承認された。(メール審議済)なお、会告案について、以下の修正依頼がなされた。

- a) 日時の「平成22年11月(予定)」を「平成22年11月(下旬)」に変更する。
- b) 場所の「地盤工学会」を「地盤工学会 JGS 会館」に変更する。
- c) 「解説:」を「趣旨:」に変更する。
- d) 申し込み要領の「⑥論文概要」を「⑤論文概要」に修正する。
- e) 掲載料、著作権の字下げを修正する。

理事会報告

- ・地盤工学シンポジウム運営細則の改訂について、説明がなされ、承認された。(メール審議済)

VI. 学術情報委員会関係

1. 60周年記念DVD

(資料 22-1-15)

理事会報告 ①現状と今後について

- ・60周年記念DVDの現状について、説明がなされた。
- ・60周年記念DVDについて、以下の方針で修正することを確認した。
 - a) 修正は、調査研究部部長が協力して行うものとし、後日、作業依頼(チェックの方法、担当箇所、目次等)を事務局より送付してもらう。
 - b) 表紙、目次、編集後記のPDFファイルをDVDに追加する。
 - c) 「SF」、「シンポジウム論文集」、「土と基礎」の邦文論文の書誌データについて、タイトル名および著者名の校正を行う。

理事会報告 ②5/18現在の販売数：133団体141セット

2. 電子図書室システム利用状況

理事会報告 ①本登録：66名、仮登録：85名

VII. その他

1. 広報委員会からの意見照会

①HPの英文化について

(資料22-1-16)

- ・HPの英文化について説明がなされ、資料22-1-16の後ろの3ページを英文化することで合意を得た。なお、英文化するコンテンツについては、他の部会HPと歩調を合わせて行うこととした。

理事会報告 2. 調査・研究部関係の未収金について

- ・第42回、43回研究発表会投稿料、参加料の未収金の取り扱いについて、以下の通りとすることを承認した。
 - a) 未収金273,000円を雑損扱いとする。
 - b) 請求は継続して行い、入金があった場合には、雑収入として処理する。

3. 理事会(平成22年7月23日(金))開催予定への審議事項・報告事項

- ・事務局が取りまとめ、メールにて確認するものとした。

4. 総務部会（平成 22 年 6 月 11 日（金）開催予定）への提案事項

- ・事務局が取りまとめ、メールにて確認するものとした。

5. 次回以降の部会・運営会議開催日

- ・後日、メールにて調整を行うものとした。